



浸透する茶席

今までの茶室は、「茶室で茶をたてて、楽しむ」ことに対して、敷居が高く、強い緊張感を感じてしまう。そのため平等さが希薄になり、本来の茶室の意図を組み取れずにある。そこで今までの茶室に変化を与えるために、一般的に使用されている「ダンボール」を使用して空間を提供する。ダンボールのもつ色合い、温かさ、身近さが茶室の敷居や緊張感を緩める。さらに内部を曲線で構成し、洞窟性を出すことによって、やわらかさや落ち着きを得られる。更にダンボールだけで構成することにより、まとまりが生まれ、より良い形で茶室の平等さが伝わり考えられる。





